



○ DBCLS Galaxy とは

ゲノム、タンパク質、文献などの情報を、マウスを中心とした操作で、複数のツールを組み合わせることで処理できる解析インタフェースです。OReFiL や TogoWS などライフサイエンス統合データベースセンター (DBCLS) で開発した独自のツールを、既存の解析インタフェース Galaxy に加えました。プログラミングに慣れていない研究者でも使えるインタフェースです。

○ DBCLS Galaxy の特徴

- ・ 統合ウェブサービス (TogoWS) や生命科学データベース横断検索を通じて国内外の主要データベースにアクセス可能
TogoWS が対応している国内外の主要なデータベースからデータを取り込んだり、横断検索から得たデータを利用して解析できます。
- ・ 文献処理ツールも利用可能
DBCLS で開発した OReFiL などの文献処理ツールが組み込まれているので、データ解析のほか、文献データからの情報抽出も行えます。
- ・ データセットやワークフローの保存や共有が可能
ユーザー認証に DBCLS OpenID を用いているため、データセットや作成したワークフローを保存して次回ログイン時に再利用できます。また、ユーザーのあいだでこれらの情報を共有できます。
- ・ お持ち帰り DBCLS Galaxy パッケージの提供
手元のコンピュータで自分用の DBCLS Galaxy を簡単に立ち上げるパッケージを提供しています。

○ 利用例

- ・ 次世代シーケンサーから得られた配列の解析に。
- ・ プログラミングなど計算機処理の経験の少ない生物系研究室でのデータ解析に。

○ 今後の開発予定

- ・ DBCLS のツールを順次追加していきます。また、RDF を通じて、より広くデータを取り込めるようなツールを開発します。

○ ご質問やご意見はこちらまで

info@dbcls.rois.ac.jp

(2011年11月現在)

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部 12 号館 TEL: 03-5841-6754(代表) FAX: 03-5841-8090(代表)

本サービスは、文部科学省委託研究開発事業「統合データベースプロジェクト」の成果をもとに、JST ライフサイエンスデータベース統合推進事業『基盤技術開発プログラム』として実施しています。